

レクリエーションかながわ スコレ

第63号

発行日 平成18年3月25日
 発行 特定非営利活動法人
 神奈川県レクリエーション協会
 編集 広報委員会
 事務局 〒221-0855
 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1
 神奈川県立スポーツ会館内
 電話 (045)320-2430
 F A X (045)320-0640
<http://www.kanagawa-rec.or.jp/>

やってよかったしく活動 学んでよかったしく運動 もってよかったこの仲間

生涯スポーツ社会の実現を目指して

神奈川県教育委員会教育局 スポーツ課長 茅野英一



昨年4月

に着任して以来、県レクリエーション協会の皆様方とは、様々な大会やイベントでお会いして、お話を伺いしたり、時には一緒にレク活動に興じたりしてまいりました。その際にいつも驚かされるのは、参加されている方々の明るい笑顔と元気に満ち溢れているお姿であります。この笑顔と元気の源が、日ごろから取り組まれているスポーツ・レクリエーション活動にあることは間違いなくと確信しております。

本県でも、県民の皆様が、笑顔と元気に満ち溢れているような社会を創っていききたいと考えており、「い



つでも、どこでも、だれでも、いつまでも」運動やスポーツに親しむことのできる、生涯スポーツ社会を実現するための「神奈川県スポーツ振興指針 アクティブかながわ・スポーツビジョン」を策定して生涯スポーツの振興に努めているところであります。

その中の取り組みの一つに、「3033運動」があります。これは、子どもから高齢者まで、一人でも多くの方々が、健康で明るく豊かな生活を営んでいただくために、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、生活に根づかせましようという事で、「3033運動」と名づけて推進しております。県レクの皆様方におかれましては、「3033運動」の模範的な実践者として、様々な機会において、誰もが気軽に行動することができるとレクリエーションやニュースポーツをご紹介いただくことにより、「30



が気軽に行動することができるとレクリエーションやニュースポーツをご紹介いただくことにより、「30

33運動」を一人でも多くの方に勧めていただきたいと願う次第です。

もう一つ



の大きな取り組みに、「総合型地域スポーツクラブ」の育成があります。「総合型地域スポーツクラブ」とは、学校開放など既存のスポーツ施設を利用し、運営費用も原則として地域住民の皆さんが負担して活動するという地域住民主体のクラブです。総合型と呼ばれるのは、誰もがスポーツに楽しめるよう、種目も年齢も技術レベルも多様であるようにとの意味であります。県内では、設立予定のものも含め、十六クラブとまだまだ少ない状況であります。そこで本県では、この「総合型地域スポーツクラブ」の普及啓発に努めるとともに、県体協とも連携して、クラブマネージャーの育成や指導者・アドバイザーの派遣などの事業を進めております。

今後とも「3033運動」の推進にご助力を賜るとともに、「総合型地域スポーツクラブ」の育成につきましても、ご協力をいただくようよろしく願います。

新春のつどい

開かれる！

1月28日(土)横浜・崎陽軒において「新春のつどい」が開催されました。第一部は大勢のご来賓をお迎えし、式典および功労者表彰式等が行われ今年度は12名の方々が表彰されました。



第一部 平成17年度 レクリエーション活動普及振興功労者表彰



写真左から 三枝会長、吉村氏、吉岡さん、山本さん、一人空けて、波多野さん、一人空けて、佐々木さん、一人空けて、加藤さん、片山氏、市川氏
内左から 五味氏、正田氏、山本久氏

●被表彰者 (五十音順・敬称略)
市川 傑
伊勢原市レクリエーション協会 会長

片山 巖
川崎市レクリエーション協会 副会長

加藤 京子
県フオークダンス連盟
レクダンス部長

五味 一昭
厚木市レクリエーション協会 会長

佐々木よ志子
相模原市レクリエーション協会
会計監査

平成17年度神奈川県体育功労者表彰 当協会理事長 若木一美氏 受賞される！



さる1月21日(土)県庁大会議室において、体育功労者表彰式が行われ、当協会理事長の若木一美氏が永年のレクリエーション普及振興活動の功績が認められ栄えある表彰を受けられました。若木理事長おめでとうございます。



(故)塩見祐一郎氏

(故)塩見 祐一郎
鎌倉市レクリエーション協会 副会長

正田 春雄
藤沢市レクリエーション協会 理事

波多野良子
県レク・コーディネーターの会 顧問

山本 久男
県ベタック協会 副理事長

山本美代子
茅ヶ崎市レクリエーション協会 理事

吉岡 光子
県民踊連盟 副会長

吉村 輝男
横浜市レクリエーション協会 理事

〔お悔やみ〕

塩見祐一郎氏(県レク協会展
涯スポーツ推進委員会委員)は
去る1月23日急逝されました。
謹んで哀悼の意を表します。

第二部 賀詞交歓会

おいしいお料理を味わいながらアトラクションとして、県民踊連盟の方々による新春にふさわしい「七階節」の舞をご披露頂き、各団体紹介を交えながら、大抽選会が行われ大変賑やかな賀詞交換会となりました。





ポピーとコスモスが輝く

「くりはま花の国」

花の便りもあちこちで聞かれる季節となりました。野に山にお出かけになってみませんか。幸い神奈川県は湘南の海・丹沢の丘陵・県央に見られる里山・21世紀の街並みの横浜、川崎など出かける所は事欠きません。

健康と気分転換を求めて出かけるのに「ハイキング我がテーマ」を求めて計画すると長続きし、より楽しいものとなります。

例えば、かながわの・花の名所100選・古道50選・公園50選・探鳥地50選・美林50選・まつり50選・景勝50選・民俗芸能50選・景勝50選などの他に、各市町村にもそれぞれの名所があります。

そこで、今回「ポピーとコスモスが輝く＝くりはま花の国＝」をご紹介します。

「くりはま花の国」は、かながわ花の名所100選のひとつでポピー一園は4月中旬～6月中旬又コスモスは9月中旬～10月下旬と春秋2回楽しめます。他にハーブ園や近くには、ペリー上陸記念館などがありお勤めのコースです。

尚、花の開花時期は、年によって微妙に異なるので場合によっては横須賀市緑化推進課 TEL.046-822-8800に連絡して下さい。

交通アクセス

JR横須賀線久里浜駅から徒歩：約20分
京浜急行線京急久里浜駅から徒歩：約20分

コース

久里浜駅→くりはま花の国入口ゲート→ポピー又はコスモス→冒険ランド→各県の木→ハーブ園→東側入口→ペリー上陸記念碑→ペリー記念館→久里浜駅



ペリー記念館



あそびの玉手箱



NPO法人 神奈川県レクリエーション協会

「あそびの玉手箱」好評発売中!!

LT委員会の委員及びスタッフが中心になり編集、発行した「あそびの玉手箱1, 2, 3」が好評発売中です。ゲーム、ソング、ダンス、クラフト、マジック等「いつでも、どこでも、誰でも」すぐに役立つ便利な冊子です。こんなに内容がいっぱいなのに、お値段はなんと一冊100円と、大変お得です。お申し込み、お問い合わせは県レクリエーション協会事務局まで。

「あそびの玉手箱」

好評発売中!!

課程認定校だより

和泉短期大学（児童福祉学科）

レクリエーション・インストラクター担当教員 武石宣子

和泉短期大学は、建学の精神であるキリスト教の「愛と奉仕」「子どもの権利を尊重する」という価値観・人間観に貫かれています。全国で唯一の児童福祉学科・単科短期大学である本学は、保育士資格、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主任任用資格、レクリエーション・インストラクター資格が取得できます。本学は、創立以来50年間で一万人以上の卒業生を輩出し、その多くが福祉や保育の分野で社会的な役割を担っています。

本学は、学生が次のような人へと成長してほしいと願っています。

1. 本学の建学の精神（キリスト教）から学び、愛をもって福祉・保育に従事する人。
2. 行動力に富み、自ら積極的に学ぶ人。
3. 自ら考え、自分の責任で行動できる人。
4. 人が好きで、年代を超えて他者と話をすることができる人。
5. 世界の出来事に目を向け、視野を広げようとする人。
6. 子どもの権利を知り、それを守る人。
7. ボランティア精神を身につけ活動する人。

また、レクリエーション課程認定校として2年目に入り、この3月で

卒業する学生が初の資格取得者となります。1年時の授業科目11トミック（取得指定科目1単位）、2年時授業科目レクリエーション理論（取得必修科目2単位）、レクリエーション援助法（取得必修科目1単位）が基礎要件になっています。その他、事業参加を経験し、神奈川県レクリエーション協会・相模原市レクリエーション協会はじめ各種団体等々には、多大な協力を得ました。学生たちは学内では得ることのできない貴重な学びをしました。

この学びの過程で得た自信は、年間を通じて催される本学でのさまざまな行事の、参加態度にも影響を与えました。スポーツ大会・いずみ祭・サウンドコンテスト等の企画運営、ボランティア先の施設・保育所・幼稚園での遊び援助、子育て支援の場でのリーダーシップの発揮、その活躍振りは、ほほえましい光景でした。

多くの経験と感動を得たものでないと、人と豊かに接することは出来ません。ましてや、レクリエーション活動を通し、人とコミュニケーションを展開するインストラクター有資格者には大きな期待がかかります。教える教師がいちばん学ばなくてはならないと痛感しました。

始めましょう!

サン マル サン サン
3033

知っておきたい応急処置

●熱中症の簡単な応急手当の仕方

熱中症とは、湿度や湿度が高い環境下で起こる障害の総称で、その症状により熱疲労・熱けいれん、死亡率の高い熱射病に分かれています。

<熱中症>

●症状 熱疲労

脱力感がある
頭痛やめまいがする
吐き気がする

●症状 熱けいれん

手足や腰が痛む
けいれんを起こす



●処置

風通しの良い涼しい
場所で安静にする
スポーツドリンクなどで水分補給をする (50~100mlを15分ごと)

<熱射病>

●症状

体温が異常に上昇する (40~41℃以上)
発汗がなくなり皮膚が乾燥する
意識障害から昏睡状態に陥る

●処置

頭・顔・体幹部に水をかける
動脈が走る部位を氷で冷やす
タオルで全身をこすり汗腺を広げる
発病現場での救急処置を原則としてあまり動かさない



●「RICE」

「RICE」とは、打撲や捻挫を起こし「出血・内出血・腫れ・痛み」が発生したときに「安静・冷却・圧迫・巻上」により対処する方法です。

R

「Rest」

=安静（動かさない！）
内出血や出血、腫れをおさえる

I

「Ice」

=冷却（氷で冷やす！）
内出血や出血、腫れを防ぎ、痛みを鈍らせる
30~40分冷やしたら氷を幹部から離し
血流を回復させ（目安としては、冷却時間の2倍以上）
また冷やすことを繰り返す。

C

「Compression」

=圧迫（包帯で巻いて圧さえる！）
幹部の肌の色や感覚、指の動きを時々チェックする

E

「Elevation」

=巻上（患部を心臓より高い位置に上げる！）
血行を鈍くして内出血や出血、腫れをおさえる



委員会活動総括

16・17年度の専門委員会の任期が満了となりました。お疲れさまでした。アドバイザーと各委員長に総括して頂きました。

《アドバイザー》

佐藤 誠治

2年間（8回）の委員長会議に出席。各委員会が協会事業の推進に真摯に取り組み、活動されたことに委員長はじめ各委員に敬意を表したい。本当にご苦労様でした。

今後、協会の年度計画・事業の充実、「全国レク大会INかながわ」の成功に向けて、情報の共有化を図り各委員会・協会・加盟団体等との相互連携、協力体制を一層強固にしていくことが課題となろう。

《生涯スポーツ推進委員会》

青木美枝子

事業計画で目標とした「市町村主催事業の支援協力」・「チャレンジ・ザ・ゲームを県下全域に広める」事業について積極的に取り組み、それなりの成果が得られた。

委員6名での活動であったが和気藹々と楽しい活動ができ、あつという間の2年間でした。

ただ残念な事は、最後の行事を残して委員会にご尽力戴いた塩見様が逝去されたことであり、此処に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

《地域活動支援委員会》

委員長代行 高桑 克吉

●平成16年度の活動

- ①城山町で「第4回ふれあいレクリエーション大会」を開催出来た。
 - ②同大会を開催する為の実行委員会を結成して運営主体を移した。
 - ③同大会を城山町体育協会との共催事業の形にすることが出来た。
- 平成17年度の活動
- ①城山町で「第5回ふれあいレクリエーション大会」を開催出来た。
 - ②実行委員会の継続を確認した。

《レクリエーションインストラクター養成委員会》

寺井 英二

レクインストラクター養成委員会は資格取得講習会である「かながわレクスクール」の企画運営をしております。この2年間で54人の修了生を送り出しました。地域や職場などで活用していると思います。ホスピタリティーの心で委員が一丸となりアットホームな運営を心がけ、時には活動の先輩として厳しく接し、レクの心を伝えました。共に学んだ仲間も貴重な財産なのですね。

《広報委員会》

磯 隆司

広報委員会として2年間、8号の「スコープ」を予定通り発行出来ました。これも偏に多くの皆さまのご支援の賜物です。広報紙の作り方など、技術的に見れば、多くの欠点も

抱えていましたが、何よりも見易さを第一に考えて編集して来ました。執筆いただいた方々や委員との素晴らしい出会いに改めて感謝です。

《IT推進委員会》

川口 正晴

16年度は、掲載希望のあった加盟団体の紹介ページを作成、掲載した。17年度は掲載希望のあった専門委員会、事務局からの要請があったものを中心に掲載した。

本来ホームページの管理は事務局が行うのがベストだと思つ。3期6年間で何とか形ができてきたので、あとは必要なものをHTML文書（ホームページに載せるための言語）にし、掲載するだけでするので容易に行えるものと思つ。

《LT委員会》

小泉八重子

16年度新設の委員会。「職場」や「地域」をはじめとする「様々な活動の場」で日レク協会の資格が生かされるよう、フォローアップやスキルアップの研修会を2年間で6回実施。県外一流講師陣と県内公認講師によるワークショップ形式の研修会で学びあう。毎回多くの参加者が「勉強になった、自分を見つめ直した」などの成果が見られた。

地域だより

相模原市レクリエーション協会「創立五十周年記念のつどい」

開かれる！

1月22日（日）相模原市レクリエーション協会の「創立五十周年記念のつどい」が盛大に挙行されました。当協会は昭和30年に産声をあげ、民謡・フォークダンス、野外活動、ニューズポッツ、レク・ソングなど幅広い活動を展開して来ました。

平成9年度から3年間、日レク協会の「事業体化モデル事業」の指定を受け、事業と運営の改善に取り組み、その成果は日レク協会発行の「レクリエーションインストラクター養成テキスト」にも掲載され、全国に紹介されました。

祝 創立50周年記念祝賀会

相模原市レクリエーション協会



第61回全国レクリエーション大会 IN かながわ

準備委員会が設置される

全国レクリエーション大会は、過去2度神奈川県を会場として開催されております。

平成19年は神奈川県レクリエーション協会創立50周年記念の年と重なることや、また(財)日本レクリエーション協会からの開催要請もあり、関係機関等と協議を行い3度目の全国レクリエーション大会を本県で開催することといたしました。

そこで第61回全国レクリエーション大会の神奈川県開催に向け、準備のための推進組織である「第61回全国レクリエーション大会INかながわ準備委員会」の第1回準備委員会



写真は前回の東京大会

が、去る2月1日(水)かながわ県民活動サポートセンターで開催されました。

委員として、大会主催者である

(財)日本レクリエーション協会をはじめ、NPO法人神奈川県レクリエーション協会(種目団体・領域団体を含む)、神奈川県教育委員会、会場予定市教育委員会、会場予定市レクリエーション協会からそれぞれ代表者が出席しました。また大会運営に協力をいただく(財)神奈川県体育協会、神奈川県体育指導委員連合会からも出席され、合計37名となりました。

会議は委員の紹介に始まり、次に準備委員会設立に至る経過が説明され協議に入りました。最初に規約が承認され、準備委員会の設置ならびに委員が決定し、委員に委嘱状が渡されました。

その後大会概要、収支予算、スケジュール、準備のための推進組織について協議が行われ、原案どおり承認され第1回準備委員会を終了しました。

なお、委員長・副委員長・監事・事務局長はつぎの方々です。

(敬称略)

委員長 三枝 忠一 NPO法人神奈川県レクリエーション協会会長

副委員長 浅野 祥三 (財)日本レクリエーション協会事務局長

副委員長 茅野 英一 神奈川県教育委員会教育局スポーツ課長

監事 加藤妃生子 神奈川県レクリエーション卓球連盟会長

事務局長 若木 一美 NPO法人神奈川県レクリエーション協会理事長

協会活動報告1月以降分

★功労者表彰および新春のつどい

1月28日(土) 横浜・崎陽軒
被表彰者12名
参加者101名

★第3回フロアアップ研修

2月5日(日) 県立スポーツ会館
ワークショップ形式による

- ・ ニュースポーツに挑戦
- ・ 米倉菊治郎の世界
- ・ 遊びの玉手箱

参加者71名

★第4回委員長会議

2月7日(火) かながわ県民活動
サポートセンター

★選考委員会

2月16日(水) かながわ県民活動
サポートセンター

★理事会

3月4日(土) 県立スポーツ会館

★総会

3月18日(土) 横浜・万国橋会議
室

★第5回城山町ふれあい

レクリエーション大会
3月19日(日)

城山町川尻小学校
城山町立相模丘中学校

★2006年度チャレンジ・ザ・ゲーム 普及審判員資格取得講習会

3月26日(日) 県立スポーツ会館



今年の桜の開花は、早いそうですね。寒い冬から春一番の桜：待ちどろしいですね！

私の住んでいる弘明寺という町は、丘と川があり、それぞれに桜はちよつとした名所になっています。

特に私のおすすめの場所は、商店街のアーケード越しに見る、コヒガン桜がとてもきれいに映ります。4月より一足早く濃いピンクの小さな花がとても見事です。

スコレが発行される時には、もう散っているかもしれませんが、残念。来年度もよろしくお願ひいたします。(林)

編集後記

の編集でした。

惨敗や惜敗が続いた日本選手勢。

そんな中での女子フィギュア陣の活躍に日本列島が沸きました。

心技体全てを出し切ったの銀盤の舞に感動の拍手です。

勝った人、負けた人、出られなかつた人、みんな次を目指してスタートしました。私たちも、目標をしっかりと持って努力したいと思います。

努力は天才にも勝ります。夢に向かって、みんな頑張ろう！ (磯)

任期最終号は

トリノオリンピック

ツクを見ながら